

第5回旭市道の駅建設準備委員会（視察研修）会議録

日 時：平成24年8月24日（金）

午前7時30分～午後8時40分

場 所：埼玉県深谷市 道の駅「おかべ」

埼玉県春日部市 道の駅「庄 和」

事務局：企画政策課

- ・出席者 14名（椎名委員代理 花卉生産者協議会副会長 田村博）
- ・欠席者 2名（菅生委員、宮路委員）

あいさつ

委員長：本日は埼玉県内の2箇所の道の駅で視察研修を行う。それぞれの特色があり、参考になる部分も多いと聞いているので、しっかり勉強させていただき、今後のためにも有意義な研修としたい。

【視察研修概要】

●深谷市（旧岡部町）道の駅「おかべ」における研修（11:40～13:30）

- ・平成9年5月23日より開業。
- ・農業算出額全国15位、県内1位、野菜王国を自負している深谷市では、肥沃な大地から生まれる「深谷ねぎ」などの新鮮な野菜や、ユリ・チューリップを代表とする花卉栽培が盛んである。
- ・農産物センターでは野菜・切花・果物・加工品など品揃えは豊富。物産センターでは200種類以上のお漬物が名物となっており、地元野菜を使用したオリジナルジェラート、地酒など地元の魅力が詰まっている。
- ・手打ちそばを中心とした和食を売りにした食事処「そば蔵」や、手軽に食べられるラーメン・カレー・カツ丼などの食事処「秋桜」（おむすびショップを併設）が好評を得ている。
- ・運営については、当初は第3セクターでスタートし、現在は指定管理者（おかべ物産観光株式会社）が管理運営をしている。

●春日部市（旧庄和町）道の駅「庄和」における研修（15:40～16:45）

- ・平成17年3月27日より開業。
- ・「日本一の大風のまち」春日部市は、肥沃な農地と屋敷林が織りなす田園風景に囲まれた四季を充分に感じられる恵まれた自然環境にあり、利用者に愛され、地元の誇りとなる道の駅を目指している。
- ・まちづくりの拠点、産業振興の施設となる農産物直売所では、なす、きゅうりをはじめ新鮮な朝取り野菜を販売しており、黒豆ブランドが人気を得ている。また、庄和推奨品を中心とした庄和ならではの商品や全国各地の名産品を集め、おみやげに大変喜ばれて

いる。

- ・飲食スペースとなる食彩館では、テナント方式導入により、寿司・中華・ラーメン・うどん・韓国料理など様々なメニューを提供している。
- ・運営は全国に先駆け指定管理者制度を導入し、庄和商工会が管理運営をしている。

【研修を終えて各委員からの感想】

委員：両駅とも異なった運営組織を構成しており参考になった。旭市でも責任の所在がハッキリとした形の組織づくりを目指したい。

委員：おかべも庄和も交通量の非常に多い幹線道路沿いであり、旭とは若干条件が異なるため、旭は旭の特性を出して成功に持っていききたい。

委員：おかべは商品陳列がよく清潔感があった。外で販売していた果物もよい品だった。ラーメン店が建物の端にあるとまたイメージが違っただろうと感じた。庄和では安さに魅力もあった。旭では宅配サービスなどもできればよいと感じた。

委員：どちらも清潔感があった。おかべではお酒の種類の多さに驚いた。コーナーの陳列もやり方が色々あると感じた。両駅の駐車場において車上生活者が問題になっているようだが、夜は少し怖い感じがするが旭ではどうなるか。

委員：両駅とも立地条件にかなり恵まれているので、旭は地元特性を出していかなければ。駅長選定も重要である。

委員：両駅とも立地条件からすると交通量も来場者も多いだろう。旭は海の幸や山の幸を活用し、もっと特徴のあるものにしなければならない。

委員：建設当初はたくさんお客が来るだろうが問題はその後。リピーター確保のためにいかに地場産品を確保するかが重要。成功には人材確保も重要である。

委員：運営する人材がいかに重要であるか再確認した。旭には沢山の地場産品があるのでそれらを活かし特徴あるものにしたい。

委員：旭ではどうしても夏場の産品が少なくなるので、年間通しての品揃えが検討課題である。

委員：おかべの方は地場産品が多く旭に近いと感じた。庄和は品数があり安い商品が多くあった。今回の訪問先でジェラートを食べたが、その場でつくっているものではなかった。旭の道の駅では何かその場でつくって提供できるものを用意すればリピーター確保につながるのでは。

委員：両駅には非常に親切に対応していただいた。今後も繋がりを持って進めていきたい。

委員：両駅とも花の販売スペースが少なく寂しく感じた。旭の道の駅では屋外のビニールハウス等で売り場面積の確保をお願いしたい。

委員：地元のものを多く取り扱っていた。おかべではピーマンの脇に子ピーマンを置いたり白ナスを扱うなど色々な工夫も感じた。

委員：両駅ともお金をかけ過ぎない現代風の整備に感じられた。今後旭の道の駅も水道・排水、浄化槽等協議する事案が多い。

委員：今後開発行為協議などの関係もある。有利な補助制度を活用しなければならない。